令和4年度制度·予算に関する 重点要望項目

厚生労働省関係

公益社団法人 日本歯科医師会

適切な歯科医療提供体制を構築し、国民の健康増進及び健康寿命の延伸を図るため、以下を要望します

1	医療安全・感染症対策等の充実強化	P2
2	健康を支える歯科健診体制の充実	Р3
3	新しい生活様式を踏まえた歯科保健医療の推進	P4
4	地域包括ケアシステムにおける歯科保健医療の充実	P5
5	ICTを活用した歯科保健医療提供体制の強化	P6

1.医療安全・感染症対策等の充実強化 (1) 院内感染対策の強化のため、新興感染症の感染拡大時等における、『歯科医療機関での、唾液検査をふくむ簡便な検体検査の導入』を求める。 (2) 既存の院内感染対策に加えて、新型コロナウイルス等、新たな感染症対策のため、歯科診療所における研修の充実・強化に係る予算措置を求める。

2.健康を支える歯科健診体制の充実 (1) 周産期から高齢期まで全ての国民を対象とした歯科健診の導入。 (2) 成育基本法の下、成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本方針を踏まえ、『妊産婦への歯科健診の制度化』を求める。

3.新しい生活様式を踏まえた歯科保健医療の推進 (1) 健康日本21(第2次)の下、人生10年時代に向けて次期の国民健康づくり運動プランに「口腔健康管理」及び「オーラルフレイル対策」の明確な位置付けを求める。 (2) 一般臨床で活用可能な新規技術と新規材料の保険収載を求める。

4.地域包括ケアシステムにおける歯科保健医療の充実		
(1)	病院における歯科医師の配置を含め、病院における歯科 保健医療提供体制の充実に向けた取り組みを求める。	
(2)	高齢者の増加を踏まえた在宅歯科医療提供の推進および 地域の医科歯科連携の推進。	
(3)	不足している歯科衛生士の人材確保のため、「歯科衛生士の人材確保の推進に関する法律(仮称)」の制定に向けた検討会の設置を求める。	
(4)	歯科技工士の就労規定について、その条件整備(期間の限定や研修目的の限定)の検討を求める。	

5. ICTを活用した歯科保健医療提供体制の強化		
(1)	口腔診査情報標準コード仕様推進の重要性から、情報の一元化、分析のための検討および財政支援を求める。	
(2)	歯科におけるオンライン診療の確立に向けての推進を求める。	